廿三日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 福島縣石城郡平町紺屋町十四 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五 磐城時報社
發行所
一部金貳錢 一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
(日刊日曜、祭日休刊)

今度は白井氏を相手に 假處分の申請

高橋亘氏が提出 小名濱大敷網問題

小名濱町大敷網問題は既報の如く白井氏側と高橋氏側とが互に賃借權を有してゐると主張し爭ひを續け過般白井氏側では高橋氏を相手取り投網の出來ぬやう假處分の申請を平區裁判所に提出したので千葉監督判事は地方産業上に及ぼす影響を憂ひ調停の勞を執つたが結局未だ纏まらず空氣險惡の狀を呈して來た矢先き高橋亘氏は二十二日平町山野邊、眞木兩辯護士を代理人として大敷網の權利者である江名小名濱兩漁業組合に賃借料金二百五十圓宛を支拂つた上白井氏側に對し投網の出來ぬやう假處分の申請を平區裁判所に提起した、何れの主張が正當であるかは公平な司直の裁斷に待つ外はないが、全國的に見て珍らしい爭ひであるし、地方産業に及ぼす影響も至大であるので地方民は成行き如何を注目してゐる。

▲兵事主任會議

平警察署管內四町十八ケ村兵事主任會議は二十三日、二十四日兩日の總豫算額は十九萬圓、この中平警察署樓上に開いたが出席者七割約十三萬圓は縣補助となり二十五名、打合せ事項左の如しその他は豐間漁業組合支出となつてゐる、四年度工事豫算額は

▲指示事項

一、敎育召集者に對する諸調表の提出に關する件
一、陸軍召集規則に關する件
一、令狀受領の際在鄉軍人名簿に照校の件

▲注意事項

一、師團規程の件

平署管內 衞生掃除日割

公園の

賣店で亂暴

高橋亘氏が提出

小名濱大敷網問題

▲夏井四月二十二日▲豐間二十三日▲赤井二十五日▲平町二十四日、二十五日▲湯本二十六日、二十八日▲神谷二十八日▲磐崎五月一日▲平窪同上▲飯野同▲箕輪同▲永戸二日▲江名三日▲內鄉四日▲玉川同▲小田炭礦五日▲三阪、澤渡七日より九日迄

平町六町目稻島鐵工所職工鈴木八郎(二一九)外二名は去る十八日午前二時頃平町松ケ岡第一公園忠魂碑裏の賣店平町南町片寄寅治方に至り泥醉して酒を出せと亂暴を働き柵をこはし櫻の枝を折つたので平署で取調中である

工費十九萬圓で 豐間漁港改築

二十二日村會で可決

石城郡豐間漁港は昨年十二月の組合支出三萬二千七百圓を以て着工する事になつたが、之について豐間村役場で語る。

從來豐間村の漁港は名のみの漁港であつたゝめ同村の漁獲高一ケ年七十萬圓の巨額に達してゐたが大型漁船の繫留所がなかつたので漁獲高の三分の二は茨城縣平潟に船送して陸上げをしてゐた、從つて同村は本當に一漁村として漸やく甦生する譯でいよ〳〵多年の懸案が解決され從來の不便を補つて更に他の漁船を入港せしめ得ることになつたから同村の水産業は同港の完成と同時に偉大な發達を遂げ全く産業上に一大革命を起すものと期待される。

▲無産黨の候補

四倉町菊地高位氏は來る五月下旬行はれる同町々會議員改選に日本大衆黨より候補者として出馬する事になつた。

貸賣りを拒まれ 侵入して亂暴

好間村大字上好間字中道淸水眞澄(三〇)は去る四月八日午後十一時頃附近の醬油販賣業關養進(二三)方の戶を外して侵入し醬油九升樽五本を貸せと申し込み拒絶されたので午前一時頃再び同家に侵入し亂暴を働いたので二十二日平署に告訴された。

▲ハガキ集

▲六月上旬貴社が創立十五年紀念として五中學校野球試合を平町で擧行されるはずですが誠に結構な計劃だと存じます何卒毎年擧行するやうお願ひします。(湯本町川○政吹)▲近頃電話の交換手が不眞面目で困ります。電話が濟んでも繋ぎきりでおいたり、呼んでも出なかつたり等々。(扇長さん注意して下さい(二丁目生))▲平驛が目下改築中ですが、待合々用の便所がないため、私の家の便所を借りに來て仕方がありません、何とかなりませんか。(驛前一商店生)

時報文藝

▼四季雜詠

磐高女校 山部勇正

狐すむ森となりけり親の恩
蛙鳴いて苗三寸や雨もよひ
五月闇木蔭の日光る社頭哉
鶴はしの向ふ行手や靑嵐
粒數のあて事に興ず今年米
旱して水欲しげなる馬の面
年忘れふと見し友の白髮哉
年忘れ翁笑ふや齒二三

沖繩から

沖繩西表樫葉炭礦 (上) 山崎喜正

琉球即ち沖繩縣は日本の南部臺灣と鹿兒島の間島嶼大小六十余面積百四十四方里就中沖繩本島尤も大く南北四十里東西一里乃至十里附屬諸島を加へて約八十七方里宮古島十四方里八重山群島四十三方里なり、地勢本島は山少なく從て大川もないが八重山郡は山嶽聳へ森林繁茂し山猪群をなす等の奇觀あり村民は犬を畜ひ槍を以て突き殺すもあり、又「ブッチメ」を仕掛け壓殺し補て食膳に供す、狐兎等の獸は棲むを聞かず山には名木多く、槇、コクタン、タガヤサン、桑の大木、赤木、線香の原料となる「タブ」紺の染料となる「シル木」其他特有のものを産す、地質は石灰岩、砂岩、頁岩にして各地に乳洞を見、特に西表島海岸は珊瑚礁にして「マニ」蘇鐵其上に生長す、若し此れを內地の園庭に移しなば如何に人目を惹くに足るものあらんか、元來沖繩はマラリヤ病多く「ハブ」「ヤモリ」の住む所、雨水を飮む國なりと聞き及びしに何ぞ計らん、生活上何等の脅威を感ずるものなく將來有望の領土なり、今縣統計の示す所によれば一反歩の收穫

米 〇石八三六
大麥 〇 五二六
甘藷 四六八貫

賜天覽、臺覽 世界人類驚異と賞讚
ザンバ マーチン・ジョンソン夫妻によつて世界の魔界は征服さる
チャッキー、クーガン君主演
古着屋クーガン
水谷八重子主演
九官鳥
二十五日より二日間 平 館

創立十五週年記念として 五中學校對抗 野球試合擧行

本社は今年六月を以て創立滿十五ケ年に達するので紀念の計劃として五中學野球部選手を平町に招き對抗野球試合を擧行する事に致しました。各位の熱烈な御後援を仰ぐ次第であります。

一、期日 六月上旬
一、場所 平町磐城中學校庭
一、參加校 磐城中學校、双葉中學校、相馬中學校、田村中學校、安積中學校
一、試合はトーナメント式による
一、優勝校に優勝旗贈呈

詳細は追て發表

主催 磐城時報社

故荊妻フヂ子葬送の際は遠路態々御會葬被下且つ御鄭重なる御香奠を賜り奉深謝候乍署儀以紙上御厚禮申上候

昭和四年四月廿三日

平町田町

喪主 大塚鳳三郎

火事ッ!!

火事ハ最初ノ五分間
肺患ハ最初ノ一ケ月
肺結核モ初期ナレバ極メテ容易ニ全治スレドモ遲レテハ恐ルベキ難症ナリ

肺結核治療界之大革命
靈劑 東天光 ヲ發賣ス
十日分 金參圓五拾錢

◆主治効能

一、本劑ハ貧血ヨリ起ル諸種ノ病、腺病、肺病、肋膜炎若シクハ肺病ニ類似ノ病ニヨシ、肺病ニ類似ノ病トハ、肺病ノ如クニテ肺病ニアラザル病ヲ云フ、俗ニ「ブラリ病」トモ云フ、輕キハ五六週間、重キハ二三ケ月若シクハ數ケ月ノ後ヨリ藥効顯レ追々全治ス。

◆實ニ恐ル可キ難症

一、結核治療ニ就テハ國ノ東西ヲ問ハズ醫學者間ニ於テ有ラユル研究スレトモ未ダ其ノ療法ノ發見セラレザルハ甚ダ遺憾ナリ、世界的大博士コッポ氏ノ如キモ生涯ヲ結核治療研究ニ傾刑シ其ノ努力ノ結晶トシテ結核治療劑「ツベルクリン注射液」有リ病菌學上ヨリ之ヲ見レバ實ニ理想的藥劑ニシテ絕對ニ有効ノ筈ナレトモ使用ノ結果ハ萬全ヲ期シ難ク遺憾ノ点無キニ非ラズ現今ニ於テハ一部人士ノ使用スルニ過ギズ

結核治療法ハ未ダ完全ナル方法發見セザルガ故ニ十人十樣ノ療法ヲ行ヒ其ノ大部分ハ殺菌防腐ヲ主眼トセシモノ、如シ、是レ結核治療上根本的ノ誤リニアラザル哉ト思惟ス。

最近ノ調査ニ依レバ百人中九十六七人以上ハ結核菌ノ保菌者ナリト云フ、然レトモ之ニ犯サル、人ハ千人中一人六七分ニ過ズ是ヲ以テ見レバ結核菌ハ人ヲ犯スニ非ズシテ自体ガ犯サレ易キ素質ガ故ニ犯サル、事明カナリ、極端ニ言ハシムレバ結核菌ハ人ノ附キモノナリ、藥力ヲ以テ無理ニ除カントセバ即チ其ノ結果如何甚ダ寒心ニ堪ズト云ハザルヲ得ズ、故ニ予ハ右ノ寸方ニ則リ殺菌防腐ハ或程度ニ止メ体質改造ヲ主眼トシテ製出シタルハ則チ本劑「東天光」之レナリ。

奇蹟的ニモ別表ノ成績ヲ揚ケタルハ結核治療界空前ノ誇リト云フモ過言ニ非ラザルベシ乞フ結核根治ノ大信念ヲ以テ

絕對ニ本劑ヲ信賴シ服用アランコトヲ。

◆發病當時ノ注意

肺病ハ常ニ貧血性ノ人ガ犯サレ易ク初期一二ケ月「即チ肺尖カタル」ノ大部分ハ極メテ緩慢ニシテ輕キ風ノ如キ故本人モ氣ニセズ醫師亦正直ニ發表スレバ患者ハ忽チ神經ヲ尖ラシ、或ハ悲觀シ、或ハ患者ノ感情ヲ害シ、却テ其ノ醫師ヲ排斥スル傾キ有リ、故ニ醫師ハ肺患ト發表スル事ヲ遠慮シ本人ノ氣附ク頃ハ既ニ第二期若クハ結核ノ初期頃多シ、殊ニ五六歳ノ小兒ノ如キハ初期ノ結核ノ頃迄大シタ苦痛モ無ク遊ビ歩ク者多シ、早期ノ内ニ「東天光」ヲ服用スレバ容易ニ全治スベシ。

◆肺結核ノ兆候

（即チ肺病）

一、常ニ顔色青ク痩セ時々咳ノ出ル人。

一、身体ニ苦痛無キモ次第ニ痩セ風引易キ人。

右ニ該當スル人ハ結核ノ兆候故豫防藥トシテ「東天光」半量位持續的ニ服用スレバ顔色ヲ回復シ結核ヲ未然ニ豫防シ得ベシ。

◆感冒ト異ナル点

一、通常輕キ引風ノ如クナレトモ何藥ヲ呑ムモ効無ク何トナク身体ニ倦怠ヲ覺ユ。

二、熱ト咳少シツヽ有ル。

三、時々寢汗カク。

四、顔色青ク皮膚ノ艶無クナル

五、幾分カ神經衰弱ヲ起シ不眠症ヲ伴ヒ或ハ關節ノ痛ムコト有ル。

六、音聲少シツヽカレ次第ニ痩セテクル。

七、食物ハ割合ニ喰ヘル。

以上ハ肺患ノ初期「肺尖カタル」ヨリ中期「第二期」ノ概況ナリ、此時期ヲ逸スレバ治療ハ益々困難トナル、初期ノ内ニ「東天光」服用スレバ容易ニ全治スベシ。

渡邊藥局事

調劑本舗

（商號）渡邊東天光

福島縣石城郡平町三丁目

振替口座仙臺三一四〇番

◎第一回全治報告

平町　渡○○○（男七歳）

▲體格　常ニ虚弱痩顔色青ク風引易シ

▲發病　大正十四年二月頃風邪ニ罹リ三月頃○○病院ノ診斷ス、氣管支炎及淋巴腺炎ト診斷ス、四月上旬○○病院長○○博士ノ診斷肺尖カタル及淋巴腺炎トス身体虚弱ノ爲メ淋巴腺ノ手術ハ不可能トス、痰咳少シツヽ出、身体次第ニ衰弱ス、十一月上旬○○醫院ノ診斷肺患第二期トス、十一月十日ヨリ「東天光」服用ス、十五年一月中旬○○醫院ノ再診斷、初診ヨリ良好肺患第一期程度ナリト診斷ス、其後追々良好同年四月入學期迄ニ漸ク全快シ入學ス、其後再發セズ引續キ通學中ナリ。

東京市本所區　中○○○○（男三十五歳）

▲體格　常ニ壯健十五貫七百匁三十一歳迄服藥セシコトナシ

大正十二年二月糖尿病ヲ患ヒ夜病床ニアリ大浦村○○醫院ノ診斷肺患ト診斷ス、同年五月二十日東天光ヲ服用ス、二週間頃蛔虫下リ咳幾分減シタル傾キ有リ六月下旬頃著シク良好毎日起床ス、八月中旬全快ス、九月中旬頃半日バカリ過激ノ勞働セシニ忽チ再發熱咳甚シク出、直チニ「東天光」服用三週間ニテ全治ス、其後再發セズ農業ニ從事ス。

平町江○○○（女四十歳）

▲體格　常ニ虚弱大正八年六月頃肋膜炎ヲ患ヒ平町○○醫院ノ治療ニテ十二月下旬全快。

▲發病　大正十五年四月頃風邪ニ罹リ容易ニ全治セズ、七月中旬○○病院ノ診斷肺ニ少々故障アリ大切ニ治療スベキコトノ注意ヲ受ク、八月二十日ヨリ「東天光」ノ服用ス、一週間目頃咳少々不良ノ狀態ヲ呈シタリ、五六週間頃ヨリ追々良好同年十一月下旬全快ス、其後再發セズ頗ル壯健ナリ。

石城郡赤井村

野○○（男四十一歳）

▲體格　常ニ壯健大正十四年八月痔病ノタメ二回ノ手術ヲ受ケ全快ス。

▲發病　大正十五年六月氣管支炎ヲ患ヒ同年八月上旬平町○○病院長○○博士ノ診斷肺尖カタルトス直ニ入院昭和二年一月中旬全快ス、同年五月上旬再發同月中旬「東天光」ヲ服用六月上旬咯セキ少々減ジ九月下旬全快ス、其後再發セズ引續キ事業經營中ナリ。

平町佐○○○（男十五歳）

▲體格　常ニ虚弱痩血色惡シ、常ニ風引易シ。

▲發病　大正十五年十二月頃ヨリ輕キ咳出昭和二年一月頃ヨリ風邪ノ如ク症狀ヲ呈シ熱三十七度三、少シ倦怠ヲ覺ユ食欲ハ普通ナレドモ身體衰弱ス六月上旬咯血ス、平町○○病院長ノ診斷肺患重症、全治保證出來ズ、三氏會診ナリ、直ニ○○病院ニ入院ス、七月下旬退院直ニ白河町○○病院長ノ診斷前三醫師ト同診斷全快ハ保證出來ズト、同院入院注射療法ヲ行フ、九月退院歸國ス、甚ダ衰弱シ盡夜病床ニ就キタル儘起床出來ズ、用便ハ床中ニテ便器ヲ以テ行フ、熱ハ三十八九度ヲ往來ス、頑固ナル咳痰多ク九月十六日ヨリ「東天光」ヲ服用ス三週間目頃頑固ナル咳ハ幾分減ジ其ノ後一進一退現狀維持七ケ月ニ及ベリ、三年五月下旬頃ヨリ少シク良好熱三十八度內外往來ス、氣分ヨシ其後極メテ緩慢ナル速度ニテ快方ニ赴キツヽアリ、八月下旬始メテ起床少時間家中ノ歩行ヲ試ム、盡夜病床ニ臥スコト實ニ十一ケ月、食事モ人手ヲ以テ匙ニテ養フ事往々有リ、痩セタルコト骸骨ノ如ク、九月中旬熱三十七八度ヲ往來ス、毎日數時間起床氣分追々良好主治醫モ全快ヲ保證ス、其後引續キ良好十一月十日氣候ノ激變乘中ニモ稀ニ見ル寒氣ナリ、普通ノ如ク起床御大典ノ祝日ニ仕午前十時頃着衣着替タルニ忽チ惡寒ヲ催シ甚ダ敷咳出熱ハ三十八度五分ニ昇リ口中變リ食欲減退シ病勢ハ急激ニ增進ス、遂ニ起ツ能ハズ十二月死亡ス。

肺患治療中感胃ノ恐ル、コトヲ斯ノ如シ、サシモノ「東天光」モ其効空シク終リタルハ誠ニ惜キ事ナリ。

平町藤○○○（女二十一歳）

▲體格　常ニ壯健

▲發病　昭和三年七月上旬頃風邪ニ罹リ時々盜汗有リ身體ニ倦怠ヲ覺ユ、八月上旬平町○○醫ノ診斷肺尖カタルトス、直ニ注射療法ヲ行フ、九月二日「東天光」ヲ服用一週間目頃ヨリ咳少々減ジ氣分良好、十月下旬全快ス、目下○○ニ出勤執務中ナリ、當該患者ハ肺病ニハ經驗アリ早期ニ治療ヲ加ヘタル故亟引程度ニテ全快シタルハ衛生思想ニ注意深ハ德ナルベシ。